ビジネスアクティビティ

Business activity

29　コスモエネルギーグループの事業
31　事業概況
33　石油開発事業
37　石油事業
41　石油化学事業
45　再生可能エネルギー事業等

コスモエネルギーグループの事業

50年にわたる中東産油国との**信頼関係**

石油開発・調達

オペレーターシップ（自社操業）

自主開発、または産油国から原油を調達。オペレーターシップ（自社操業）を活かした高い競争力

海上輸送

調達・開発した原油および需給に応じ輸入した石油製品をタンカーにて輸送

備 蓄

緊急時に備えて、70日分以上の石油を備蓄

研究開発

製造技術の高度化研究

石油精製/石油化学・製品製造

市場のニーズに合わせ、ガソリン、軽油、灯油、石油化学製品の原料などを生産

国内輸送

コストや地域性などを考慮して輸送手段を選択し、さまざまな産業の需要家、特約店などのお客様のニーズに合わせ、石油製品を供給

石油・石油化学製品の輸出

海外での需要に応じ、石油製品・石油化学製品を輸出

国内販売（産業用）

国内販売（給油所・特約店）

コスモ・ザ・カード会員枚数 **約421万枚**

ガソリン・軽油等の燃料油販売とともに、お客様のカーライフ全般をサポート

マイカーリース

接客頻度 **50万台／日**

車両在庫を持たない低リスクのビジネスモデル。給油所の接客頻度の高さを活用

電気事業

コスモでんき

電力を調達し、家庭用電力の販売を開始

風力発電設備容量 **全国第3位** 国内シェア7%

風力発電所開発および建設

全国で風力発電所・太陽光発電所を運営

自社オペレーション&メンテナンス、発電

発電

発電した電力を電力会社に供給

製品・サービス

石油製品
ガソリン／灯油／軽油／重油など

石油化学製品（生活必需品の原料）
レジ袋・ペットボトル・洋服・タイヤ・電化製品の外枠など

カーライフソリューション
マイカーリースなど

電 力

事業概況

	石油開発事業	石油事業（精製・販売）	石油化学事業	再生可能エネルギー事業等	合 計
概　要	アラブ首長国連邦（UAE）アブダビ首長国、カタール国において、原油の自主開発・生産を行う事業です。	輸入した原油を製油所で精製し、全国のサービスステーションや工場等へ販売する事業です。	ポリエステル繊維、ペットボトル、プラスティック、合成ゴム等の原料の製造を行う事業です。	石油関連以外の事業です。主に再生可能エネルギーとして、風力発電事業を展開しています。	
売上高（2019年度実績）	979億円	2兆5,068億円	4,144億円	-2,811億円	2兆7,380億円※2
経常利益（2019年度実績）	450億円	-478億円／44億円（在庫影響除き）	52億円	139億円※2	163億円／685億円※2（在庫影響除き）
従業員数（2020年3月末時点）	271名	4,448名	1,178名	949名	6,846名

主な資産（2020年3月末時点）

石油開発事業
- 原油埋蔵量（確認・推定）：160.6百万バレル（約17年分の供給量に相当）（2019年12月末時点）
- 原油生産量（グループ合計）：約5.1万バレル／日（精製能力比 約13%）（2019年1月～12月実績）
- パートナーシップ：50年にわたる産油国との強固な信頼関係

石油事業（精製・販売）
- 原油処理能力※1：40万バレル／日（国内シェア 約11.4%）
- 国内SS数：サービスステーション（SS）数 2,755箇所
- コスモ・ザ・カード会員枚数：421万枚
- マイカーリース：累計73,634台
- カーライフスクエアアプリ：会員数 192万件

石油化学事業
- エチレン生産能力：129万t／年※3（国内シェア 約19%）
- パラキシレン生産能力：136万t／年（2020年7月末時点）
- ベンゼン生産能力：73.5万t／年
- ミックスキシレン生産能力：61.8万t／年

再生可能エネルギー事業等
- 風力発電設備容量：26.6万kW（全国第3位 国内シェア7%）（2020年7月末時点）
- 風車数：179基（24地域）（2020年7月末時点）

合 計
- 企業認知率：98.4%

調査対象は、自家用車で最近1ヶ月以内にガソリンスタンドを利用した18～64歳の男女1,239名（2017年10月30日時点）

主な事業会社・関連会社（2020年3月末時点）

- コスモエネルギー開発：アブダビ石油／カタール石油開発／合同石油開発
- コスモ石油：コスモ石油ルブリカンツ／ジクシス／キグナス石油
- コスモ石油マーケティング：コスモ石油販売／総合エネルギー
- 丸善石油化学／コスモ松山石油／CMアロマ／ヒュンダイコスモペトロケミカル
- コスモエコパワー／コスモエンジニアリング／コスモトレードアンドサービス

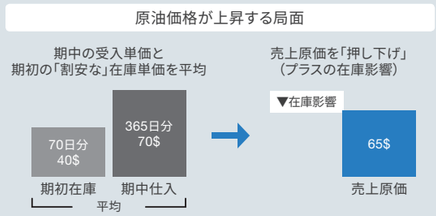
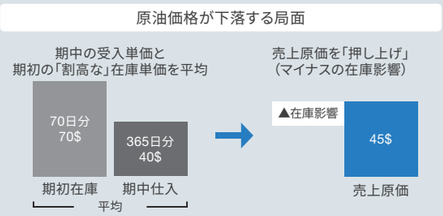
※1 事業提携に基づく出光昭和シェル石油グループからの3.7万バレル／日相当の製品、半製品の供給も含む
※2 連結処理を含む
※3 京葉エチレン（丸善石油化学が55%を出資する連結子会社）の生産能力を含む

在庫影響とは

「在庫影響」とは、原油価格が変動した際、棚卸資産の評価方法によって、損益計算書の売上原価が影響を受けることを指し、以下の2つに区分されます。

1 簿価切り下げによる在庫影響

棚卸資産の期末時点の時価が簿価を下回っている場合、簿価を時価まで切り下げることが必要となり、これにより損失が発生することを指します。

2 総平均法による在庫影響

棚卸資産の評価方法である「総平均法」によって受ける収益上の影響を指します。原油価格上昇局面では、期中の上昇した仕入在庫単価が期中比安値の期初の在庫単価と平均されるため、売上原価を押し下げ、反対に原油価格下落局面では、期中の下落した仕入在庫単価が期中比高値の期初の在庫単価と平均されるため、売上原価を押し上げることとなります。